

加藤 二葉 ∫ 加藤 瑞木

Violin Joint Recital

ヴァイオリン ジョイント リサイタル

Futaba Kato

2018 1.20 (土) 13:30開場
14:00開演

三井住友海上 しらかわホール

【入場料】 全自由席4,000円(当日4,500円)

Program

タルティーニ=クライスラー

ヴァイオリンソナタ 短調「悪魔のトリル」

フランク

ヴァイオリンソナタ イ長調

サン=サーンス

序奏と Rond Capriccioso 作品28

メンデルスゾーン=アクリン

歌の翼に 作品34-2

クライスラー

中国の太鼓 作品3

ショーン

詩曲 作品25

サラサーテ

カルメン幻想曲 作品25

Mizuki Kato



ピアノ：末松 茂敏

【主催】加藤二葉・加藤瑞木後援会 ∫ 新世紀飛翔の会 【後援】中日新聞社 【マネジメント・お問合せ】クラシック名古屋 ☎052-678-5310

チケットお取扱い
アイチケット ☎0570-00-5310 clanago.com/i-ticket しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117
芸文プレイガイド ☎052-972-0430 カワイプレイガイド ☎052-962-3939 栄プレチケ92 ☎052-953-0777
中日サービスセンター(中日ビル1Fプレイガイド) ☎052-263-7282

加藤 二葉

VIOLIN : Futaba Kato



愛知県生まれ。2歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科在学中、第42回全日本学生音楽コンクール高等学校の部名古屋大会第1位及び全国大会第1位、並びに兎東賞、NHK賞、毎日新聞社賞を受賞し、東京サントリー大ホールでの「十代の音楽家演奏会」に出演。東京藝術大学音楽学部器楽科を経て桐朋学園音楽学部研究科修了。その後、アメリカ・ワイオミング大学音楽学部演奏学科へ給費生として留学し、加藤瑞木と同率首席修了。同校在学中、ソロイスト、コンサートミストレス(加藤瑞木とシェア)として演奏契約を結び、学内外で行われたコンサートやツアーに積極的に参加、同校より記念CDが発売され好評を博した。1996年電気文化会館ザ・コンサートホールでのソロデビューリサイタル以来、帰国後現在に至るまで、ソロ、室内楽、オーケストラとの共演など、名古屋、東京、アメリカを中心に非常に精力的に演奏活動を行っている。中でも、実妹・加藤瑞木とのヴァイオリンデュオは、息の合った絶妙なハーモニーを奏でる音楽として非常に高い評価を受けている。これまでに、故近藤富雄、森下陽子、山岡耕作、伊藤美佐子、江藤アンジェラ、故江藤俊哉、Brian Hanlyの各氏に師事し、ヴァイオリニストE.Zimbalist、J.Gingoldなどの奏法研究を行う他、国内外でZakhar Bron、Ruggiero Ricci各氏のレッスンも数多く受講。収録放送では「FMリサイタル」、「名曲リサイタル」(NHK-FM)などの他、テレビ愛知、CBC放送などのメディアにもたびたび取り上げられ、また雑誌「音楽の友」、中日、朝日、毎日、日本経済新聞紙上において、その深い叙情性や芸術性を高く評価されている。また、1995年より4年間に亘り、東京カザルスホールでのチャリティーコンサート(フィリピンの子供たちのための)のレギュラー出演を務めた他、母校においての出張演奏などの活動も広く行っている。現在、名古屋音楽大学、同朋高等学校音楽科、名古屋市立菊里高等学校音楽科、各非常勤講師。名古屋音楽学校講師。また、全日本学生音楽コンクール名古屋大会(加藤瑞木と3年ごとに交代)、日本クラシック音楽コンクール、ベートン音楽コンクールなどの審査員を務め、後進の指導に精力的にあたっている。東海地区クラシック若手指導者の会「奏心会」会員。

加藤 瑞木

VIOLIN : Mizuki Kato



愛知県生まれ。2歳よりヴァイオリンを始める。5歳でソロイストとして昭和天皇、皇后両陛下の御前で演奏し東海テレビに出演。第45回全日本学生音楽コンクール高等学校の部名古屋大会第1位及び全国大会第1位、兎東賞、毎日新聞社賞、NHK賞を受賞し、東京サントリー大ホールにて「十代の音楽家演奏会」に出演。1989年に名古屋フィルハーモニー交響楽団と協演しテレビ愛知にて放送される。そして1993年に再度同フィルと協演し、中日賞及び日本演奏連盟賞を受賞。1999年よりアメリカ・ワイオミング大学音楽学部演奏学科へ給費生として留学し、2001年、同大学を姉・加藤二葉と同率で首席修了し、師Brian Hanly氏ディレクターのもと、ソロイスト、コンサートミストレスとしてワイオミング大学より記念CDが発売され、好評を博している。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、アメリカ・ワイオミング大学音楽学部演奏学科修了。これまでに、故近藤富雄、伊藤美佐子、森下陽子、山岡耕作、故田中千香士、江藤アンジェラ、故江藤俊哉、Brian Hanly各氏に師事し、ヴァイオリニストE.Zimbalist、J.Gingoldなどの奏法研究や国内外でAaron Rosand、Ruggiero Ricci、Benny Kim、Zakhar Bron各氏のレッスンを数多く受講。4年間に亘り、東京カザルスホールで行われたチャリティーコンサートのレギュラー出演を務めた他、姉・加藤二葉とアメリカ、東京、名古屋を中心にジョイントリサイタル、また、ソロとしてもリサイタルを数多く展開し、テレビ愛知、東海テレビ、NHK-FMに出演するとともに室内楽奏者としてチェンバーオーケストラ、デュオ、クワルテット、また、カデンツァ(自作)、編曲にも積極的に取り組み、音楽の友、中日、朝日、毎日、日本経済新聞紙上においてその芸術性を高く評価されている。現在、名古屋音楽大学、愛知県立明和高等学校音楽科各非常勤講師、名古屋音楽学校講師。日本クラシック音楽コンクール、ベートン音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール審査員(加藤二葉と3年ごとに交代)。精力的に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にも力を注いでおり、2008年より東海地区クラシック若手指導者の会「奏心会」の主宰代表を務め、未来ある子供たちのためのコンサートや著名教授陣を招聘した公開レッスン等様々な催しを企画運営し、後進の育成に大きく貢献している。

末松 茂敏

PIANO : Shigetoshi Suematsu



東京藝術大学音楽学部附属高校を経て同大学卒業。同大学大学院修士課程修了。ハンブルク音楽大学卒業。第60回日本音楽コンクール入選。エリゼ・マイヤーコンクール(ハンブルク)第2位。第17回飯塚新人音楽コンクール大賞受賞。藝大オーケストラ、シベリウス音楽院交響楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を、バルトフィルハーモニックオーケストラとショパンのクラコヴィアクを、岡山若い芽のオーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演。日本ショパン協会、ヴァン・クライバーン日本委員会主催のリサイタルをはじめ、日本、アメリカ、ドイツにてリサイタルを開催。ピアノを小林仁、御木本澄子、西田理恵、フォルカー・パンフィールド、クラウド・シルデの各氏に、音楽理論を古曾志洋子、法倉雅紀の各氏に師事。アンサンブル・ヴァリエのメンバー。横浜音楽文化協会会員。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員、歌曲アンサンブル研究会正会員。コンクールの審査、J.S.バッハやコンクールの課題曲の演奏と分析の講座や、曲の解説をしながらのトークコンサートを行っている。2006年から2011年まで東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校講師。現在、フェリス学院大学講師。加藤二葉氏とは大学時代同級生。

三井住友海上

しらかわホール

名古屋市中区栄2丁目9-15

[交通のご案内]

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」より徒歩3分

